

No. 26

1993

9月1日発行

萩の郷

発 行 者
下 市 田 区
発行責任者
下 井 武 平
印 刷
下市田・キタバヤシ印刷

踊りで「ワイド賞」
酒よでハッスル賞に輝く1区



踊りで「演技賞」
夜霧よ今夜もありがとうでチアリング賞に輝いた2区

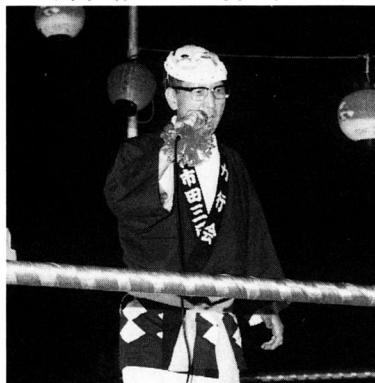


第七回萩の里祭
七月三十一日
二二〇〇人が集って
盛大に

— 子供花火大会 —
270人の子供が一斉にパチパチ



踊りで「もりあがったで賞」
北国の春でユーモア賞に輝いた3区



★キキプログラム★
☆第一部 六時四十分から、全
員による納涼盆踊り大会。
☆第二部 七時十分から、高森
音頭の各区発表会。
☆第三部 七時五十分から、子
供花火大会。
☆第四部 八時二十分から、カ

踊りで「ハーモニック賞」
よせばいいのにでピッタリ賞に輝いた5区



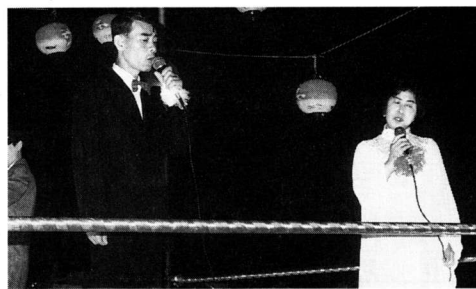
踊りで「和やかムード賞」
二人の大阪でグッドアイデア賞に輝く4区



☆第五部 九時から、全員によ
る納涼盆踊り大会。
☆各区の壮青年部 六時からお
楽しみコーナー開店。

雨天続きの冷夏であったが
今宵は星空に...
ラオケ大会(各区代表) デュ
エット・仮装歓迎

踊りで「揃ったで賞」
東京ナイトクラブでロマンチック賞に輝いた6区



区の情勢について

区長 下井武平

先ず、裁判については、去る七月十九日、最高裁判所より「上告を棄却す」との判決がありました。問題発生以来十五年。この間、区民の皆様には大変御心配をおかけしましたが、全面勝訴で、決着いたしました。後期振興五ヶ年計画が出来る上がり、いよいよ新計画によって各事業が始まりました。各地区・各事業毎に区の発展の御協力をお願いいたします。

ことになりました。区としてもしっかりと格別の御配慮を要望して参りたいと考えております。

旧下市田学校については旧保存会に代り、新たに「旧下市田学校愛護会」を発足（全町組織）町の支援を得ながら、当分維持管理を続けることになりました。皆様の御理解御協力をお願いします。

コミュニティセンター上棟式

三区部落長

木下

豊

平成三年度から部落挙って研究を重ねて来た三区コミュニティセンターの建設（萩山の里整備事業）も去る七月三十日にいよいよ上棟の運びとなった。三日前から昔ながらの白と杵で餅をつき、それを俵に入れて投げることにしたので

平成三年度から部落挙って研究を重ねて来た三区コミュニティセンターの建設（萩山の里整備事業）も去る七月三十日にいよいよ上棟の運びとなった。三日前から昔ながらの白と杵で餅をつき、それを俵に入れて投げることにしたので

平成三年度から部落挙って研究を重ねて来た三区コミュニティセンターの建設（萩山の里整備事業）も去る七月三十日にいよいよ上棟の運びとなった。三日前から昔ながらの白と杵で餅をつき、それを俵に入れて投げることにしたので



明神橋の架け替えについても、地元の説明会もあり平成九年度完成との事で、橋の取付等近辺に大変な影響がありますので、将来に問題を残さぬ様、関係者の対応をお願いいたします。

公共下水道処理場予定地については、地元の皆様の了解を得て、アンケートの集約が出来ましたので、今後具体的な話し合いに入る

六地藏建立地籍の裁判について

平成五年(第)八二三号

判決

長野県下伊那郡上郷町飯沼一四四八番地一

上告人 宇佐美不動産株式会社

右代表者代表取締役 宇佐美 信夫

被告 長野県下伊那郡高森町下市田二二三番一

被上告人 高森 貢 町 夫

右代表者町長 吉 川 仁 志

右訴訟代理人弁護士 西 沢 仁 志

右当事者間の東京高等裁判所平成四年(第)一六四号土地所有権確認等請求事件について、同裁判所が平成五年一月一九日言い渡した裁判に対し、上告人から全部破棄を求める旨の申立てがあった。よって、当裁判所は次のとおり判決する。

主 文

本件上告を棄却する。
上告費用は上告人の負担とする。

理 由

上告人の上告理由について
所論の点に関する原審の認定判断及び措置は、原判決示の証拠関係及び記録に照らし、正当として認めることができ、その過程に所論の違法はなく、右違法のあることを前提とする所論違憲の主張は、その前提を欠く。論旨は、原審の専断に属する証拠の取捨判断、事実の認定を非難する、独自の見解に立つて原判決を論難するか、又は原審の裁量に属する審理上の措置の不当をいうものにすぎず、採用することができない。

よって、民訴法四〇一条、九五条、八九条に従い、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり判決する。

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官 木 崎 良 平

裁判官 藤 島 昭

裁判官 中 島 敏 次 郎

平成4年度 下市田区一般会計決算報告書

(自平成4年4月1日～至平成5年3月31日)

収入合計 44,875,892円
支出合計 42,529,022円
差引残高 2,346,870円

【1. 収入金の部】

項 目	予算現額	決算収入額
1. 区 費	13,541,000	13,590,100
2. 繰 入 金	9,959,000	9,959,272
3. 町 支 出 金	5,973,000	6,185,575
4. 財 産 収 入	1,300,000	1,257,930
5. 寄 付 金	1,000,000	822,882
6. 消 防 義 務 金	2,505,000	2,505,000
7. 諸 収 入 金	1,234,000	1,201,214
8. 前 年 繰 越 金	9,353,919	9,353,919
収入合計	44,865,919	44,875,892

【2. 支出金の部】

(単位 円)

項 目	予算現額	決算支出額
1. 総 務 費	12,292,000	12,603,464
2. 厚 生 費	674,500	621,217
3. 林 務 費	957,000	928,751
4. 土 木 費	11,866,000	12,194,749
5. 水 利 費	6,980,000	6,598,275
6. 消 防 費	1,751,000	1,701,566
7. 公 民 館 費	2,881,000	2,881,000
8. 公民館建設基金	5,000,000	5,000,000
9. 予 備 費	2,464,419	0
支出合計	44,865,919	42,529,022

平成4年度 下市田公民館会計決算報告書

(自平成4年4月1日～至平成5年3月31日)

収入の部

科 目	予算額	決算額
繰 越 金	98,139	98,139
繰 入 金	2,881,000	2,881,000
補 助 金	977,120	996,620
雑 収 入	65,105	62,430
合 計	4,021,364	4,038,189

支出の部

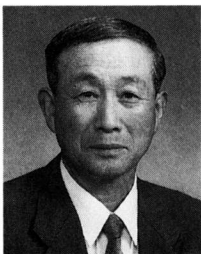
(単位 円)

科 目	予算額	決算額
総 務 費	1,763,000	1,753,953
教 養 部 費	1,237,105	1,202,573
体 育 部 費	583,000	579,135
視 聴 覚 部 費	208,000	199,931
図 書 部 費	107,000	106,200
予 備 費	123,259	100,000
合 計	4,021,364	3,941,792

選ばれた町議 六名に聞く

任期満了に伴う高森町議選は、七月二十五日に投票が行なわれ、開票の結果二十人が当選を果した。三人落ちの少数激選となった今回の選挙は、前回より立候補者は多かったが、投票率は前回より二・五三%下回り九〇・八七%だった。

現職十一、元職一、新人十一人のうち当選したのは現職十、新人十の内訳となった。下市田からは六人が当選した。



原 昭 夫

と共に、商工業の更なる振興に努めます。福祉医療施設の充実、誰もが安心して老後を過せる長寿社会への環境づくりに努めます。



小宮山佳子

此の度は、多くの皆様の深い御理解と、暖かい御支援をいただき、有難く、心から御礼申し上げますと共に、責任の重さを痛感致しております。

又長年懸案であった下市田中段土地総も前向きに具体化されようとしています。快適な生活環境実現の為に下水道（公共）事業も早期供用開始の為に努めると共に、住環境整備のための土地利用計画、農用地確保

まず、豊かな町づくりを目指すための基盤として、産業の振興に力を入れていかねばと思います。若い人達が意欲的に励める町となるよう努力して参ります。その基盤の上に、行き届い



倉 沢 岩 雄

町議選には区民の皆様には温かい御支援を頂き厚く御礼を申し上げますと共に、その責任の重大性を強く感じているところであります。さて、下市田区は町内でも宅地化が進み混住化する中で、生活環境の整備が急務であると思います。道路排水の問題を始め、下水道・農免道路・明神橋架け替え、中段地帯の整備等々、正に問題が山積しております。

私は此の様な大事業を行なうに当り、関係する方々と良く話し合い皆で英知を結集して、後世に悔いを残さず後々良かったなあ、皆で喜び合える様な事業でなす。子供さんから、高齢の方までが住みよい町となるよう努力し、時に安心して高齢期を迎える為の福祉施設の充実は、急がなくてはと考えます。更に、地域の声、女性の声を大切に、町政に反映させる様にとめ



伊奈川義公

今度の町議選には、大変お世話になりました。抱負と大上段に云われましても困りますが、町が将来、いつまでも「皆が楽しく、住み心地の良い町」であるにはどうすれば良いのか、又下市田がどうすれば良くなっていくのか等々、常に基本（原点）に戻って考え、出発していきたいと思っております。

今、町も町民も一番求めているのは、下水道事業ではないかと思ひます。この事業は将来に悔いを残すことがない様解決したいと思ひます。皆な意見を出し合ひ、知恵を出し合うことが大切ではないでしょうか。広域道、農免道、ふる里道、明神橋架け替え等数年内に下市田もかつてない程変ってゆきそうな事業が目

ければならないと思ひます。そして萩山の里に住んで本当に良かったと思われる地域づくりに努力したいと思ひますので宜しく御指導の程をお願いします。

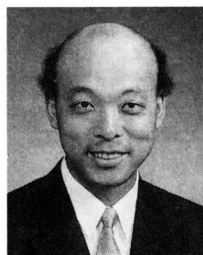


久保田昌幸

バブルの崩壊に始まった不況は長引く気配です。そこへ異常な冷夏、長雨により農作物の不作も心配です。環境破壊、資源の枯渇等、今迄の様な経済成長一辺倒の価値観を切りかえる時ではないかと思う。

町政に於ては町民の意見を聞くだけの「参加型」の町政から「町民主人型」の町政へ発展させる時だと思ひます。そして、多くの皆様との対話を心掛け、身軽に行動できる若さを生かして、多くの場へ積極的に足を運び参加させていただき、勉強して町政へ反映させて参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。

この度の町議会議員選挙におきまして、多くの皆様にご支援をいただき町政の場へ送り出していただき、その責任の重さを感じています。これから四年間、皆様のご期待に応える為、常に新鮮な気持ちを持ち、固定観念にとらわれる事なく、若い世代から見ると、健全な議会運営に努め、町民の皆様にとって『風通しの良いガラス張りの明るい町政』を目指して参りたいと思ひます。そして、多くの皆様との対話を心掛け、身軽に行動できる若さを生かして、多くの場へ積極的に足を運び参加させていただき、勉強して町政へ反映させて参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。



熊谷元尋

策を進めたい。

募金御礼と報告

萩の里祭りの折に三区参青会の呼びかけで、四区漸進会の協力をえて、一万五千元を町の社会福祉協議会を通して、奥尻島へ送る事になりました。

講演会

長谷川敬子弁護士を迎えて

去る六月十八日(下市田) 区公民館主催の講演会が区の公民館で開かれました。

当日は、突然の衆議院の解散が心配される日となり、そんな中多数の区民の皆様、今回は「日常生活に於ける法律問題あれこれ」と題し、下殿岡に長谷川法律事務所を構えられ活躍されている長谷川敬子弁護士を講師にお迎えし、講演していただきました。

当日は、突然の衆議院の解散が心配される日となり、そんな中多数の区民の皆様、今回は「日常生活に於ける法律問題あれこれ」と題し、下殿岡に長谷川法律事務所を構えられ活躍されている長谷川敬子弁護士を講師にお迎えし、講演していただきました。

当日は、突然の衆議院の解散が心配される日となり、そんな中多数の区民の皆様、今回は「日常生活に於ける法律問題あれこれ」と題し、下殿岡に長谷川法律事務所を構えられ活躍されている長谷川敬子弁護士を講師にお迎えし、講演していただきました。

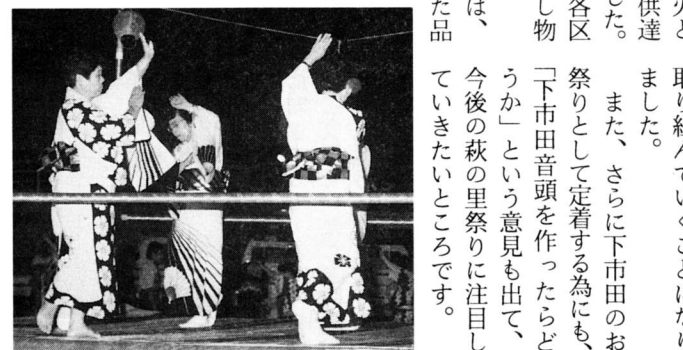


当日は、突然の衆議院の解散が心配される日となり、そんな中多数の区民の皆様、今回は「日常生活に於ける法律問題あれこれ」と題し、下殿岡に長谷川法律事務所を構えられ活躍されている長谷川敬子弁護士を講師にお迎えし、講演していただきました。

夫の両親と同居している妻は夫の両親の扶養義務を負わされているわけだが、法律的には兄弟姉妹がいる場合その義務はない。それに対して回りの者の感謝と思いやりの気持ちが大切である。

夫の両親と同居している妻は夫の両親の扶養義務を負わされているわけだが、法律的には兄弟姉妹がいる場合その義務はない。それに対して回りの者の感謝と思いやりの気持ちが大切である。

夫の両親と同居している妻は夫の両親の扶養義務を負わされているわけだが、法律的には兄弟姉妹がいる場合その義務はない。それに対して回りの者の感謝と思いやりの気持ちが大切である。



萩の里祭りを振り返って

教養部

七月三十一日(下市田区)の「萩の里祭り」が、例年になく雨の多い日が続く中、心配された天候にも恵まれ、盛大に行なわれました。

参加者全員の納涼盆踊りに始まり、高森音頭の発表会では、各区に創意工夫がみられ、この企画が定着した事を感じさせられました。又、子供花火大会も、参加した子供全員に、花火とジュースが配られ、子供達と共に大人も楽しみました。

カラオケ大会では、各区とも趣向を凝らした出し物で盛り上がりました。お楽しみコーナーでは、大変盛況の中、用意した品物全部を完売し、シャ

ンシャンと手拍子も高らかに鳴り響きました。盛り上がりを見せたお祭りも、全員参加の盆踊りでコミュニティーの輪を広げ、余韻を残しつつ、閉会となりました。

後日行なわれた反省会では、「下市田区の中でも、ふれあいを求

春祭り

獅子曳きをやってみて

桜丸を舞って

三区 福沢俊幸

出砂原で舞うのも終って、本番の安養寺から神社のだんかいいに入った。

ちんちんする。それに、かつらの下の布についているひもがおしつけられて、頭がいたい。

休憩は二回だけで、ぶっ続けで舞った。神社までがすごく長く感じた。肩車をしてもらって帰る時は、最

高にいい気分だった。

梅王をやって

五区 北林一良

梅王は、他の二人とちがつて、茶色の化粧をぬられたので、「何でぼくだけ」と思いました。かつらは、痛いと感じていたし、衣装も重いと聞いていたけど、そんな事はなく、大丈夫でした。出砂原では、人がたくさんいたりして、きんちょうしたけど、お宮では、出砂原でまちがえず、うまくできたので、ほとんどきんちょうしませんでした。

松王になって

六区 久保田康平

初めての練習の時、ぼくが松王だという事を知った。連日の練習で三人の気も合いました。

いよいよ本番だ。今までの練習を全て出し切ろう。どきどきした。かつらで頭が痛かった。足も痛い。つらくて涙が出そうだった。でも伝統ある行事に参加できたこと、そして、松王になりきって最後までやりぬき通せた事が一番うれしかった。

浦安の舞を舞って

一区 中村恵里子

萩山神社の祭りは、小さい頃一度行ったことがありますが。そのためか浦安の舞を見た記憶がなく、舞うことを受けたもののどんな踊りなのか心配でした。しかし、思ったより少ない練習で済んだテンポの遅い優雅なものでした。

本番の時、拜殿に上る寸前までは、大勢の見物人と何十年も受けつがれてきた歴史ある舞を踊るという責任感から、とても緊張していました。しかし、曲が鳴りだすと不思議な程落ちつき、堂々と舞うことができました。浦安の舞の歴史の一ページを飾ることができ、光栄でした。

私に、「浦安の舞」へ出て欲しいと聞いた時、初めは、何のことかと思いました。聞いたこともなければ、見たこともないことが、私に振りかかったのです。

私に、「浦安の舞」へ出て欲しいと聞いた時、初めは、何のことかと思いました。聞いたこともなければ、見たこともないことが、私に振りかかったのです。



下市田区スポーツ大会

六月十三日に行われたグランドゴルフ、ソフトバレー大会には区民の皆さんのご協力を得て、和気あいあいのうちに、楽しさと、笑いと涙をもって無事に終る事ができました。年々技術の向上が見られ、プロ級のプレーもあり、皆さんの応援もあり、楽しい一日を過ごす事ができました。

結果は次の通りです。

グランドゴルフ

- 一位 三区 二位 四区
- 三位 六区 四位 五区
- 五位 一区 六位 二区
- ソフトバレーボール
- 一位 一区 二位 五区
- 三位 六区 四位 二区
- 五位 三区 六位 四区

三区ってこんなところ

三区 木下 豊

戸数は現在 一九八戸ですが、年内に二〇〇戸を確実に越えそうです。

三区は下市田の他の部落と違って、上段の南小学校の西側に学校平西常会があり、それからずっと下ってJR軌道の東側に荒神前常会や河原の工業団地の近く迄伸びている力南二常会があり東西に細長い部落で、常会は全部で十五常会、隣組は二十一組



三区行事の一コマ

地域の紹介

素晴らしい里五区

五区 小川 純弘

部落の紹介と言う事です、五区には武陵地一・二・三・四、中谷、平塚一・二と七つの常会で一三八戸、アパート十八世帯の部落です。平坦地でのんびりした風土に見えますが、いざと言う時のまとまりは素晴らしい。近年住宅を構えて部落に入られた方々も素晴らしい人情味溢れた所と言われます。そんな心豊かな郷を次代におくろりたいと思います。



河原より五区を望む

前向きに考え町当局の大英断を期待し黒沢川下の関係者それぞれの思いを込めて地域発展の因になればと願っています。

・その中で学校平西、宮北荒神前、荒神前南、荒神前西、これらの常会のほとんどの人達は二十年位前から最近までに他の地から来てここに住居を構えた人達です。県住・町住・その他アパート等全くなく、個人の借家等三戸程ありますがそれ以外は全戸常会に加入しております。三区のコミュニティセンターの建設も十一月十五日には完成の見通しとなりましたが、それを機会に高森でも屈指の混住化地域として一層のコミュニティ活動の盛り上がりを目指しているところです。

下市田区に住んで...

三区 村山 純一

係の方から原稿用紙を渡されて、切日が近づくにつれて何を書くか悩んでしまいました。そこで我が家の紹介と下市田に住んでの感想を述べさせていただきます。家族は男一人、女五人で他に生きものはいません。引越し当初は家の回りの環境がどうのじなかったのですが、最近、学校や公園が整備されているこの地域がとても住み良く、ここに来て良かったとつくづく思う今日この頃です。



ようこそ下市田へ

こうのとは感
じなかったの

今は夢に消えた、ドイコレクションをご縁に、高森町の皆さんと知り合って六年。上郷町から引越し、下市田の新井常会に加えて頂いて、二年半がたちました。

夢 追い人
四区 唐木 孝治
村が私の生まれ育った所で、両親が住む宮田村の家は、私のスタジオに使い、高森



いる私は、天竜川流域の風土や風情を写真のモチーフに選り、夢と遊びながら、十二年の歳月が流れました。下市田に生活のベースを置いて、皆さんにお世話になりながら今も色んな夢を見続けています。夢は実現しなくては、色あせてしまうものです。いくつもの夢を織りながら、これからは皆さんと、レンズを通してお目にかかる機会も多いと思います。今後共、下市田の一住民として、よろしくお願ひ致します。

地域探訪

下市田の石碑と

石造物(その一)

田口正幸

旧道の辻、お寺お宮や古墳の附近などに石碑・石像・石燈籠など石造物がたくさん建てられています。また田畑の道や山道のほか墓地にも墓石でない石碑石像があります。最も多いのは高さ七・八十センチ以下の自然石をちよっと加工して文字か像を刻んである馬頭観世音であります。次に庚申の塔で庚申の字か関係ある青面金剛の石像や猿田彦の

これらの石碑石像は宗教や信仰に関係するものが多いので、昔の人たちの生活や行事を想像したいと思います。

さて、どの様にして何んのために石碑や石像を建てたのでしょうか。今回は庚申様と秋葉塔・金毘羅塔をとりあげました。

お庚申様

千支の庚申(かのえさる)の日の夜のお祭りのことです。このお祭りのために庚申の字を石に刻んだり、青面金剛の石像や猿田彦命の碑を建ちました。千支とは十干・十二支のことです。庚申の日はひと月おきに

あります。

かのえさるの日の夜は人が眠っている間に腹の中にいる三尸という虫がその人のちよっとした悪いことやあやまちを天に昇って天の神様に告げるので寿命が縮められると伝えられていた。そこで、人びとはこの夜はお堂や近くの家へ集って持ち寄ったご馳走を食べながら話し合い夜明けを待ち家内の健康と子孫の繁栄、増産、豊作などをお祈りしたということです。この祭りは平安時代に中国から伝わったようです。青面金剛は庚申様の本体で天魔を降す妻



庚申塔(二つ)

下市田2区 金部

左は高さ115cm 元禄9年(1696年)建立

右は高さ158cm 元文5年(1740年)建立

・自然石に「庚申」の二字の碑は各所にある。



青面金剛碑(左)と猿田彦碑(右)

下市田5区 中谷に建っている。

・青面金剛(浮彫)は高さ96cm 建立 安永3年(1774年)

・他に4区巡礼沢、3区中村などにもある。

・猿田彦碑(文字)は高さ62cm 建立 安政7年(1860年)

・他に3区中村、4区洞などにもある。



金毘羅塔と秋葉塔

下市田4区 銚子ヶ洞(南沢)

「金毘羅大権現」は高さ153cm 建立 天保3年(1832年)

「秋葉山大権現」は高さ144cm 建立 文化4年(1807年)

2区生活改善センター辻、5区武陵地一号墳など各所に並んで建っている。また、1区唐沢には同じ石に並べて彫り刻んだ石碑がある。

い面相をし全身青色で眼は三つ、六つの腕で矛、剣、弓矢、玉などを持ち、両足で鬼を踏みつけている仏様を守る神様です。猿田彦命は神話の天孫降臨の時大勢の神々の先頭に立っていた神様で神道の家で祀ったようです。徹夜でのお祭はしなかつたが昭和の初めまでお庚申様のお祭りは残っていました。

秋葉塔・金毘羅塔

秋葉様や金毘羅様の信仰は江戸時代の終り頃から一般に布及し秋葉塔と金毘羅塔が並んで建てられている。近所同志で秋葉様や金毘羅様の代参講を組織し一口の

金額を定め積立をして、くじびきで代参人を定め遠州(静岡県)の秋葉山や四国讃岐の琴平山へ参拝しお札を受けていた。百五十年ほど昔のことだから経済的に恵まれ信仰心が深く生活に余裕があり、その上身体が強健な人が代表でお参りをしました。自分たちが信仰する神様の名を石に彫り刻んで建てて日を定めてお祭りを行ったことで当時の庶民の信仰と生活が窺われます。秋葉大権現は防火の神様、金毘羅大権現は交通安全の神様として信仰されました。

随 想



高齢化社会に思うこと

上 沼 晃 (三区)

日本も世界一の長寿国といわれるようになりました。最近の新聞にも新しい平均寿命が発表されて、特に女性の寿命の延びが注目されます。全人口のうち、六十五才以上の人がどれだ

けを占めるかということです。高森町でいえば、この三年間で毎年一位ずつ増加して、今年は一九%台になりました。町民の五人に一人は六十五才以上ということになり、高齢化社会の到来といえます。

長生きができるという事はすばらしく、有難い事です。その反面に色々と考えさせられる事、地域や行政などで対応しなければならぬ事柄が多くなってきました。

高齢者自身が、まず心身の健康の維持増進に心がけ、

復興・発展は、世界的な経済大国として各国から注目されるようになり、

きょうは、四十八回目の終戦記念日である。全国戦没者追悼式が、天皇・皇后両陛下をお迎えして開かれる。

回顧の一断面

松岡 金 三 (五区)

太平洋戦争の戦没者は、軍人・軍属・民間人を含めて、約三百万人といわれ、その数の多さに驚胆のほかなく、その悲しみの大きさはかりしれない。

信学校に入校し、その後戦局急を告げた七月には鶴川村の谷間の山腹に巨大壕を掘って学校を移転するため転属していたが、学校の車輛のガソリンが少なくなつたということで、木炭車に移行するという事で、木炭生産に従事、敗戦当日は炭釜から炭出しの最中という滑稽な日であった。それにしては敗戦から五十年、想像もできなかった日本の

生きがいの確立に努めなければと思います。

精神的な豊かさ、生きる張り合い、生きるしあわせ、生きる値うちなどを見直したい。年を重ねても精神的な若さは保ちたい。理想を失うときに老いがくる、希望ある限り若く、失望と共に朽ちるといわれます。

高齢者を生ける数々の教訓に学び、地域とのつながりを大切に、よい仲間づくりなどの中で、長寿社会に感謝して、頑張りたいと思います。

い歴史を確認する必要がある。



中央が松岡さん

Eさんありがとう

木 村 喜久雄 (四区)

私がM中学でEさんを担任したのはもう三十年前になります。Eさんはとても背が高く明るい女の子でした。成績も上位で級の人気者でした。三年生の十二月三者面談のとき、当然大学進学の高校へと思っていたが「私は和裁を習いた

いから高校へいきません」といい出しました。殆んどが高校進学なのにこの娘がどうしてと驚きました。希望が固いので願書提出まで四回家庭訪問をしました。

最後にわかったことですが、本人は「筋ジストロフィー」という不治の病いをもっていました。二十歳ぐらいいまでしか生きられないことを知っていました。

「この娘が皆さんのように健康な体になれる可能性はまずないのです。小学校の頃より万策尽き果てこの娘をじっと見つめていました。夜も昼も、何日も何年も、そうしているうちにこの娘も私と同じいのちを持つている。人の価値には役に立つか立たないかというそんな計り方しかないの



小中学生の作文

萩の里祭り

小五 塩沢 未来 (三区)

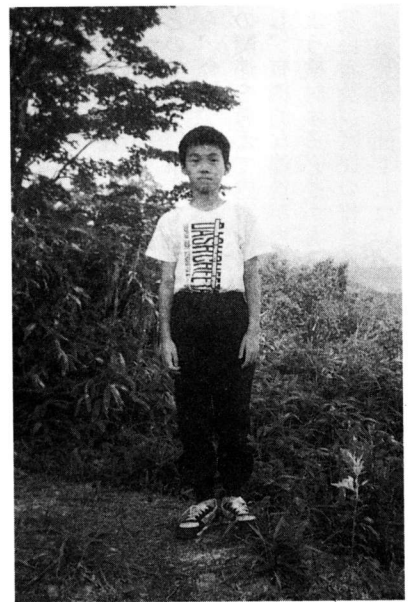
七月三十一日に家族みんなで萩の里祭りに行きました。私はずっと前から楽しみにしていて七月三十一日になると朝からわくわくして行くじゅんぴをして、夜になるのを待っていました。日がくるとすぐ、ゆかたを着てかい中電灯を持ってウキウキしながら行きました。着いてすぐに目に付いたのが夜店です。わたあめにヨーヨー、焼きトウモロコシそのほかにも文ぼう具とかいろいろな物がいっぱいありました。妹といっしょに私はヨーヨーとかき氷を買いました。かき氷を食べ終るとすぐにわたあめとフランクフルトを買って食べました。区ごとの高森おんどの時におじさんたちが、「みんな出てきておどるんだ。」と言っていました。私はそれを聞いて友だち



チャレンジキャンプ

小六 松上 努 (二区)

ぼくは、今年、チャレンジキャンプへ行くのは、初めてでした。五日間だったのでいろいろ楽しい事がいっぱいありました。テントは、ご飯作り、竹細工、登山、野営、竹笛作り、お祭り、後片づけなどが楽しかったです。だけど残念な事が二つあります。一つはソーメン流しができなかった事です。せっかく竹で作ってくれたのに残念でした。二つ目は、魚つかみができなかった事です。楽しみにしていたので残念です。登山は、戒壇不動に行きました。と中までは楽しかったです。すごくきゅうになりました。ちよう上につくとおり、後片づけなどを楽しみました。帰りは楽しかったです。その夜に野営がありました。暗くなるとサルがなきました。それで熱くて熱くて眠れませんでした。ぼくがチャレンジキ



ンプで一番心に残った事は、お祭りでした。バイキングは、いろいろな物が出ておいしかったです。キャンプファイアーは、班の出し物があってもり上がりしました。

ぼくがこのチャレンジキャンプで自分に身についていた事は火のたき方やまだいろいろあります。もう一度チャレンジしたいと思います。

中学最後の夏休み

中三 上 沼 真訓 (六区)

夏休みというと、友達を誘って、山奥の川原でキャンプをする。川へもぐり、夜は花火をする。翌日は、近くの高原へ出かける。これが小学一年からくりかえした行事であった。しかし今年はちがった。親から離れて友達とだけの信州博見物の計画をした。信州博を思う存分たのしむこと、副担だったM先生の

にしたかったが、つめが甘かったようだ。けっきょく、親と一緒に信州博に出かけるはめになってしまった。まあ、それなりに楽しむことができたが、なんとなく悲しいものがあった。ああ、本当なら友達と楽しむはずだったのに。甲子園では、松商は一回戦で負け、今年の夏も平凡に終わるのでした。



来年こそは、自分らしい夏休みにするつもりだ。

グループ紹介

下市田盆栽クラブ

会長 久保田 三男

私達盆栽クラブは現在十二名です。年間活動は一月総会、二月十二月迄盆栽講習会で第三水曜日午後七時北の原集会所又は一区会所で行います。七月は他地区お棚拝見。月末反省会。一番大きな行事は下市田文化祭りに協賛しての盆栽展示です。十年余続いています。展示場所の件では不満

あさみ会 (一区)

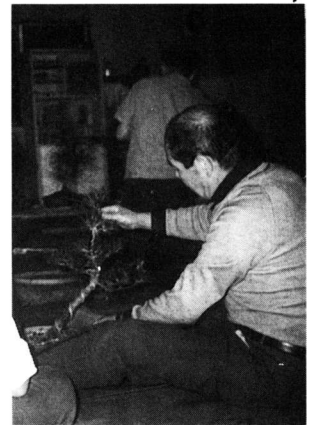
小平 恵美子

まず「あさみ会」紹介で始めさせていただきます。あさみの花の咲く頃発足しました。民踊クラブ、あれから十年余経過、ひと口に、ひと昔とも言われます。「早いものネ、もうそんなになるの」グループの人達とも時々話しております。現在は、八名のメンバーで月二回の練習日、先生の指導のもとに、楽しみながら続けております。

大雪の日、

或いは台風、今日は身体の調子がわるい

夜「アアいやだナァー」と感じ、つい怠け心を起こしてしまします。一晩おくれでしよう、取り戻すのに時間がかなり大変です。心にむち打って頑張っており、民踊を始めた頃は、手足が棒の様、思うままに動かず苦労しました。練習が終って帰宅しても近くの外灯の下にて熱心にくり返したものです。扇の紙が夜露にぬれ、一本だめにしま



く務める。山岸末男氏、四国五葉松を実生から育てた人。小椋邦彦氏、多忙ながら手入れが大変。小林タケ子氏、女性ながら松・さつき鉢がすこぶる多い。以上の会員紹介です。

した。今となつては遠い過去の笑い話となりました。趣味を生かし、若さを保ちながら、踊り続けて行く事が出来れば幸せと思ひます。公民館事業におきましても、グループ皆さんが協力し出来る限り都合をつけ呼びかけ、積極的に参加して参りたいと話して合っております。グループ同志たすけあつて末長く続けていけます様願っております。

発表会、或いはいづれかの行事に参加した後、必ず反省会、くつろぎの場を持ち、楽しみの会話に花を咲かせております。そして喜びをお互いに



提言

K生

人づくりとイベント

各地区で人と人のコミュニケーションを図る為に、盛んにコミュニケーション事業にとり組んでいる。

これらのイベントにより地域の活性化、ふれあい、地域づくりの原動力となつて発展している。

しかし、世の中が多忙化している上に、物事に対する価値観の多様化で、一人一人の評価が異なっている。

下市田でも行事が多過ぎるとか、マンネリ化しているという声(建設的批判的の両面)が最近でてきている。

それは、各地区(部落・常会)で大小の差はあれ、同じようなイベントを企画し地域をまとめているので、区のイベントと重複するようになってきている。

しかし、イベントは地域づくり、人づくりに欠くことのできない事業であるから、今後、区全体と各地区の関連を考えて内容を吟味し、有機的な連携ができるよう検討する必要がある。関係者及び区民の皆さんのご意見をお聞きしたい。

編集後記

天候不順で降雨の続く冷夏となり、農作物を始めとして各方面に悪影響がでてきました。

公民館の時計は、夜の十一時を指しているが、まだ原稿の字数と写真をみながらレイアウトを続けている。新しい委員になって二号めの編集会議、その内容も多岐にわたっている。萩山芸能の獅子ひき、浦安の舞、新しい町会議員の抱負、法律問題の講演会、萩の里祭等の事業をとりあげ、毎号の連載以外に、新企画として地域探訪「下市田の石造物」をしばらく掲載することにしました。

今回も、数多くの方から原稿をよせて頂き有難うございました。

どうか、日頃感じていること、意見等、自由に投稿して下さい。

